



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あつたかウェルねっとニュース 第5号
2005年11月4日発行
ホームページ新アドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

埼玉県教育委員会「学校と民間の共同プラン開発事業」

深谷市立南中学校 & あつたかウェルねっと ジョイントプロジェクト

ねっと総力をあげて、学民ジョイントプロジェクトに取り組んでいます。全18回(総合的な学習の時間)のうち前半部分が終わろうとしていますが、これまでにおこなわれた授業の一部をご報告します。

学・民ジョイントプロジェクト キックオフ

本物に触れる!!
現実に学ぶ!!
未来に向け学ぶ!!

“共に生きる社会の一員として、今自分たちでできること”

(深谷市立南中学校資料より)

- 第1回(9/15) : 福祉って? ボランティアって?
- 第2回(9/29) : 本物に学ぶ!! Part 1
- 第3回(10/6) : 本物に学ぶ!! Part 2
- 第4・5回(10/20) : 大規模体験学習
- 第6回(10/27) : 未来に向け学ぶ!! Part 1



~大規模体験学習オープニングより~

深谷市立南中学校と協働で進めてきた学民ジョイント第4・5回目は、体育館・美術室・武道場を使っての大規模体験学習でした。会場を「わたしたちが住んでいるまち」に

見立て、障害がある人もない人も、元気に生活していることを感じ合い、未来の社会人「南中1年生」(5クラス 196名)が福祉・ボランティア体験をしました。

この日は約60名の推進員が結集。企業からは、音声誘導装置(池野通建株)、視覚障害者生活機器等(株大活字)の貸し出しがあり、地域からも、深谷市社協や南中PTAの方々など大勢の参加協力がありました。

5・6 時間に繰り広げられた様々な体験メニューをご紹介しましょう!

車イス 介助ボランティア

武道場・美術室・体育館を移動しながら、車イスの名称や基本的な介助方法などについて体験しました。車イスと人との、ふれあい・心づかいのコーナーです。

車イス 茂原コーナー・金子コーナー

介助ボランティア体験です。茂原コーナーでは、段差などのバリアーの対応のしかたや車イスに乗っての目線など、介助する側・される側の体験。金子コーナーは「工夫・発明グッズ」です。高い所にあるものをとるには? 金子さん自身が開発したグッズがたくさんあります。

車イス 矢島コーナー・渋谷コーナー

車イス自分で操作して「スラローム」に挑戦! 障害者スポーツ「フライングディスク」による車イス体験で、車いす組(座位組)と立位組の交代、数字板を落した枚数で競います。

視覚障害

：全盲 松嶋コーナー

松嶋流の手作り点字版を使って「簡単な点字の覚え方」などで、松嶋さんと交流するコーナーです。

全盲 郷コーナー・石山・政木コーナー

郷コーナーは「ガイドヘルプ」のボランティア体験。石山・政木コーナーは、「サンド・テーブルテニス」という視覚障害者スポーツを体験。いずれも桶川ドリームクラブ・ボランティアがサポートです。

全盲 渡辺＆うららコーナー

「ハイジャンプ」の実技と講話！跳ぶには2名のガイドを必要とします。渡辺さんの情報機器「音声パソコン」も覗きます。

弱視 拡大写本ボランティア体験コーナー

拡大写本ってどんなもの？ 拡大教科書と弱視の見え方などを学び合い、坂戸拡大写本の会が拡大文字の書き方をサポート。

弱視 木野コーナー

ようこそ・弱視 0.02 の世界へ。木野さんの手作り視野狭窄メガネを使用して、スキヤナーとテレビで文字や写真などを拡大します。音声パソコン等も使っている「生活体験いろいろ」コーナーです。

弱視 吉田コーナー

手作り視野狭窄メガネを使用して、トイレコーナー(外出先で利用する時、困ること) & 文字の読み書きを色々なグッズを使って体験。生活の工夫が見えてきます。

聴覚障害

石川コーナー

山本コーナー

成田コーナー

はいざれも、「ふだんの

くらし」からの講話や簡単な手話体験、交流などのコーナーです。

身体：高田コーナー

ワークショップ「後ろから言ってもわかりません」。物事を伝える“コミュニケーション”的大切さ難しさなどを学び合います。

脳性マヒ：安藤コーナー

「Anken さんと絵を描こう」。Anken 作品制作中の様子をビデオで見た後、実演があり、色の出し方を、クレヨンとペインティングオイルを使って体験！

知的：尾崎・塩崎・小山コーナー

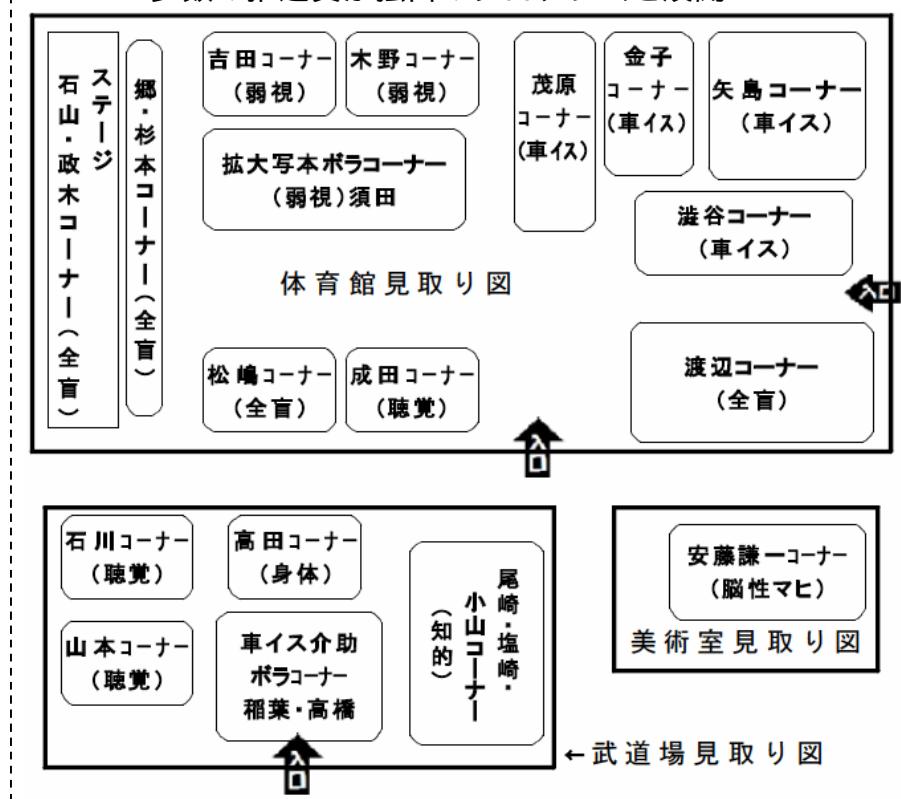
「一緒に太鼓を楽しもう」。

みんなで座って輪になって、口伝にしたがって、ひざをたたく太鼓をたたく。ドンドン、どどーん！

さあ！これから、みんなでまちに出て、地域の様々な人たちと「出会い」。様々な「体験や交流」をしましょう！

～大規模体験学習の会場～

多数の推進員が独自のプログラムを展開!!



今年度のあつたかウェルねっと事業 住民参加の手法に関する研修

～住民の声を生かした
地域福祉(活動)計画を策定するために～

この研修は、主催者である埼玉県社会福祉協議会とあつたかウェルねっとが共催でおこなう事業です。

地域福祉の推進には「地域住民の参加や協働」が不可欠ですが、いっしょに計画を作って行くにはどうすればいいのか、地域に根ざした生活課題のワークショップなどを通じて、その具体的な取組や手法などについて研修します。講師は佐藤陽氏です。

市町村社協や市町村行政職員、さらには地域住民等を対象に、地域福祉推進のための人材づくりを進めるものですが、今回は入門編で、住民の立場でどう参加していくかを研修します。推進員の皆様のご参加をよろしくお願ひいたします。

【日程、場所】

さいたま会場：11月21日(月)
彩の国すこやかプラザ研修室
(さいたま市)
深谷会場：12月20日(火)
深谷市産業会館(深谷市)

* 又は どちらかの会場を選んで、同封の用紙に記入の上、お申し込みください。
* 詳しくは同封のチラシをご覧ください。

第6期福祉教育・ボランティア学習 推進員養成研修終了

あつたかウェルねっと入会者多数！



8月8～26日にかけて開催された第6期福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修(全5日)のうち、第3・4日目のファシリテーター役を今年も担当。県内各地から集まった受講生たちが、ワークショップやまち探検などで、熱心に福祉の心を学び合いました。

研修終了後、多くの方があつたかウェルねっとに入会されました。今後の活躍が期

待されます。あつたかウェルねっとを通じて多いに情報交換していきましょう。

どうぞ
よろしく
お願ひ
します。



推進員、各地で活躍中！

様々な地域、場面でねっと会員が活躍しています

松嶋さん(桶川市)各地で実演や講話など

[感想文より] 目が不自由でも、いろんなことにチャレンジしてうまくなったりするんだな、ということが勉強になりました。「なんでも、どうよくすればできるよ」と言ってくれたので、とてもゆうきづけられました。(小4)

白い杖というのは目が見えない人にとってとても大切な役割をしていることがわかりました。町で白い杖を持っている人がいたら、道をあけてあげたり声をかけてあげたいです。障害を持っている人に限らず、困っている人には思いやりの心をもって接したいです。(中2)

～～～～

鹿沼さん(三芳町)9/22居住地校 交流など

交流の内容は以下のHPをご覧ください。

HP『ほっとあっぷるてい』
<http://www3.pf-x.net/~mituki/>

自分自身のスキルアップと共に、皆様と、『共に生きる』という事を、考えていけたら・・・と思います。重度の障がい児を抱えながらの活動ですので、大したことは出来ないと思いますが、こういう立場の人間がいてもイイかなぁとも思います。よろしくお願ひ致します。

我が家のHPでも、日常生活を綴りながら、問題提起や社会と繋がって行く事を試みています。お時間があるときに覗いて見て下さい。

～～～～

牧野さん(鶴ヶ島市社協)11/2お出かけサロン

鶴ヶ島市民活動センター(わかばウォーク内)での「参加と協働を考えるサロン in 鶴ヶ島」は、行政・市民・社協それぞれの立場からの発言の後、同センターの立地条件を活かした取り組み、社協ボランティアセンターの今後の方向性等や行政との協働について議論が展開。参加者は

NPO・社協・行政・ボランティアなど多彩で情報交換も活発に。終了後、「どれもベースは福祉教育ですね。」と牧野さんは笑顔で語ってくれました。

県社協より情報いろいろ

推進員が496名になりました！

第6期埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修を8月の5日間で実施し、あつたかウェルねっとのみなさまの御協力をいただき、94名の推進員が誕生しました。これまでに496名の推進員が認定を受けたことになります。

今年は、本制度がスタートしてから6年目を迎えることになります。5年目の節目であった昨年度に「埼玉県福祉教育・ボランティア学習関連事業検討委員会」を実施し、本研修を充実・発展していくように提言をいただきました。そこで、今年は、より多くの市町村に参加していただけるように制度を改正し、17市町村からの参加を得ることができました。今後もより多くの方に質の高い研修を提供できるように、皆様のお力を借りしながらこの制度を発展させていきます。

全国福祉教育セミナーの開催

9月26・27日に、全国社会福祉協議会の主催で「平成17年度全国福祉教育セミナー」が開催されましたので、内容をご報告いたします。

中心となったのは、昨年度に全国社会福祉協議会で行われた「社会福祉協議会における福祉教育推進検討委員会（委員長：大橋謙策氏、作業委員会委員長：原田正樹氏）」での検討を踏まえ、今後の福祉教育の方向性を示す内容でした。

この検討委員会での提案は、同じく昨年度、埼玉県社会福祉協議会が設置した「埼玉県福祉教育・ボランティア学習関連事業検討委員会」での提言と同じく、「地域福祉を推進するための福祉教育」を意識して推進していく必要があるという内容でした。

もちろん、これは社会福祉協議会に対する提言ですが、地域で活動される皆様にも参考にしていただける内容でもあると思います。原田先生の講義の中で「総論賛成・各論反対」というお話がありました。実際の生活とかけ離れたところで行われる福祉教育では、一人ひとりの福祉意識に訴えていくことは難しいのだと思いま

す。みなさんが地域で取り組んでいただいているように、実際の地域での課題と結びつけた意識的な取り組みを、これからも広げていきたいと思います。

日本福祉教育・ボランティア学習学会

11月25日(金)から27日(日)第11回日本福祉教育・ボランティア学習学会神戸大会が開催されますが、来年度の第12回大会については、本県で開催される予定であり、準備が進められています。開催日は平成18年11月25日(土)26日(日)を予定しています。

一年以上先のことと言っては鬼に笑われてしまふかもしれません、埼玉らしさを出すためには、今から準備を始めなければ間に合いません。

そして、福祉教育を進めていく中での埼玉らしさといえば、もちろん福祉教育・ボランティア学習推進員の皆さんの地域での活躍が中心になります。皆さんの活動を全国の関係者に知りいただき、逆にアドバイスや元気をもらえるよう、実り多い学会を皆さんと一緒に作っていきたいと思います。

あつたかウェルねっとホームページ

新アドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

あつたかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉) Well Being(幸福)のWell(大切に)という意味です。私たちのネット愛称には、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありますとの願いが込められています。

編集後記

学民ジョイントプロジェクトは4ヶ月にわたる長丁場。10/20の大規模体験学習ではなんと60名以上の推進員が結集。情報交換、顔見知りとなるチャンスにもなった一日を、紙上でお届けします！

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

(愛称：あつたかウェルねっと)事務局

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田4-7-12-504

横田ハ枝子 (TEL&FAX: 049-281-3161)

(e-mail: y-ya@xf7.so-net.ne.jp)

協力：埼玉県社会福祉協議会 埼玉県ボランティアセンター

(TEL: 048-822-1192 FAX: 048-822-1449)

担当：高木 (takagi@fukushi-saitama.or.jp)

星 (hoshi@fukushi-saitama.or.jp)

編集：あつたかウェルねっと世話人会（情報担当）